
意味不明のマリオとウサギさん

名無しさん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味不明のマリオとウサギさん

【コード】

N6897I

【作者名】

名無しさん

【あらすじ】

ある日、意味不明のマリオとウサギさんがいました

ある日、ある森の中で意味不明のマリオがいました。意味不明のマリオは弟である意味不明のルイージと共に、意味不明のダンスをしていました。意味不明のダンスはその名のとおり訳の分からないぐにやぐにやダンスをしています。両手を波のように打ち、足は蟹股にして開閉しています。

すると、弟と意味不明のダンスをしていた意味不明のマリオは白くかわいらしい動物を見かけました。そのかわいらしい動物は耳が長く、目が赤い。その動物がウサギさんでした。ウサギさんは可愛い顔とは裏腹に、意味不明のマリオの足を噛み付きました。噛み付かれた意味不明のマリオは激怒し、ウサギさんの長い耳をつかみ、大きく振り回しました。振り回されたウサギさんは頭からピヨピヨとひよこが回っていました。

そして、意味不明のマリオはウサギさんを遠くへ投げ飛ばしました。投げ飛ばされたウサギさんは、むーという可愛らしい声を上げて天高く舞い上がりました。そしてウサギさんは芝生の上に落下して気絶しましたとさ

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6897i/>

意味不明のマリオとウサギさん

2010年10月10日01時02分発行